

メダカ



法勝寺川水系産

環境省指定絶滅危惧種 鳥取県指定絶滅危惧種 (撮影：桐原佳介)

近所の子どもたちに、メダカがいるよと教えられた場所には、大抵メダカでない魚が泳いでいます。捕まえてみると、コイ科のカワムツという魚の赤ちゃんであることがほとんどです。メダカは、泳いでいる姿を上から見るだけでメダカであることが分かります。ポイントは、鼻先から尾にかけて見える黒いスジです。その両脇は、光があたると美しく金色に輝きます。

昨年8月に町内で行われた自然観察会で、メダカをたくさん見ることができました。子どもたちは網で一生懸命すくおうとしますが、メダカは水面に人の影が映るとスイーと水草の中に隠れてしまい、なかなか捕まえることができません。そんな中で、小学生の女の子2人がそれぞれ網をもって挟み撃ちにしたところ、一度に何十匹も網に入り、とても喜んでいました。

メダカの顔は、とても個性的です。他のどの川魚よりも圧倒的に口が上にあるのです。どこかで見たことがあるような面構えつらかまと思いきや、それもそのはず、食卓でお馴染みのサンマやトビウオと同じグループの魚なのです。

私は、平成15年から16年の間に、南部町内5カ所でメダカの生息を確認しました。しかし、そのメダカは本当に昔から南部町にいるメダカかは不明です。

メダカやカタツムリなどの、移動する能力の低い生き物は、数万年、数十万年単位でその土地の気候や風土に対応して進化してきました。メダカについては、遺伝子的に南日本型と北日本型に区別されています。外見上でも差があり、尻ビレのスジの数で見分けることもできます。さらに南日本型は9つのタイプに分けられ、南部町に生息するメダカは、山陰型の遺伝子をもつメダカとされています。

地域の自然遺産を大切にするためにも、出身地の分からないメダカや、品種改良されたヒメダカを飼っている方は、絶対に野外に放流しないようお願いいたします。

メダカが生息できる田んぼや水路は、今ではとても珍しく貴重なものとなっています。みなさんのお住まいの地区には、野生のメダカが見られますか？

自然観察指導員 桐原真希